

2011 年 7 月 23 日

ほしざらサロン 2011 年 6 月 議事録

文責：角田 佳昭

日 時： 2011 年 6 月 25 日（土）17:00 ~ 22:00

場 所： 宗像ユリックス 第 3 会議室

参加者： 石田, 岡村, 横尾, 篠原, 角, 高尾（辰）, 高尾（優）, 広滝, 山下, 山田（明）, 山本, 與古光

(50 音順, 敬称略)

職 員： 加藤, 小野田, 鳥越, 角田

(計 16 名)

サロンを始める前に、7 月 7 日の七夕に向け、笹の設置や飾り付けを行っていただきました。

1 8 月 20 日（土）のほしざらウォッキングについて

プラネタリウムでのライヴ（解説）は篠原さんが行います。リーダーはまだ未定で、募集中です。

1.1 来場者が多いときの対応

今年の、これまでのウォッキングでは、例年なく来場者数が多い状態が続いています。来場者が多いときの対応について確認していきました。

また、次回は 8 月のウォッキングということで、これまで以上に来場者が多い可能性があります。

また、8 月では「星の色を見比べる」というテーマで実施するため、これまでよりも細かなケアが必要ではないかということで、屋外での望遠鏡を見せる時の対応も併せて考えていきました。今までのやり方だと、望遠鏡によって列が長くなりがちだったり、何を見ている望遠鏡か分かりにくいという問題点があります。

そこで、これまでとは違った方式を検討してみました。全ての望遠鏡で同じ天体を導入してフォーク式に並んでもらうとか、望遠鏡毎に違う天体を導入してベルトコンペア式に流れてもらうなど様々な意見が出てきましたが、それぞれ一長一短あります。

その中で、篠原さんより、1 台の望遠鏡につき 15 ~ 20 人程度のグループ（チーム）を作り、グループ単位で行動してもらってはどうかという意見が出ました。グループ単位で動くことで、望遠鏡の担当者とこれまで以上に会話がしやすく、また、グループ内の来場者同士が顔見知りになることで、連帯感が生まれるのでないかということでした。

様々な意見の中で、この「グループ単位での行動」を次回のウォッキングで試行してみることになりました。

1.1.1 プラネタリウム入口での対応について

- プラネタリウムでの解説は 2 回目を行うことを前提で、整理券などを準備しておく。
- 2 回目の解説は、プラネタリウムの外で案内や諸注意を先に行う。
- 2 回目の解説を待つ方には、先にスタンプを押印していく。

1.1.2 屋外での対応について

- 望遠鏡は 6 台設置（タカハシ, Vixen 屈折 1, Vixen 屈折 2, Vixen 屈折 3, Vixen 反射, ミード 27cm 反射）。
- 今回はグループ分けを行い、1 台の望遠鏡につき 15 人程度ずつのグループで観察していく。
(プラネタリウム 1 回の人数を 90 人と想定した場合。)
- 1 つのグループで見る天体は、最大 3 天体。

- 1回目のプラネの方の観望は、20時30分を目処に終了。
 - 2回目のプラネの方が観望を始める頃から、屋外のライブ・スタンプの押印を開始する。
 - 20時前に屋外の会場に来られた方にも、プレとして見ていただく（スタンプも押してあげる→こちらは、別のスタンプで対応予定）。
- 1回目のプラネの方が来られたら観望は終了し、1回目のプラネの方と合流しグループを形成する。

2 8月6日（土）望遠鏡工作教室について

毎年恒例となっている、「親子で作ろう 望遠鏡工作教室」を今年も実施します。募集定員は20人で、7月上旬に宗像市内の学校にチラシを配布し、郵便ハガキで申し込んでもらいます。例年、多くの申し込みがあるので、抽選にのではないかと思われます。（7月23日現在、19組の申し込みあり）

今年度も、新しく入ってこられた（初めての工作教室となる）スタッフが多いということもあるので、工作教室と同じキットを、前の週かどこかで実際に作成してみたいと思っています。リーダーは未定で、募集中です。

3 8月6日（土）・7日（日）「チルドレンズ・ミュージアム」について

チルドレンズ・ミュージアムは、これまで過去2～3年にわたり、夏休みに行われてきた、ユリックス主催のイベントです。過去に、プラネタリウムは「ミニミニプラネタリウム作り」「望遠鏡工作教室」「光の万華鏡作り」といった工作教室を催すということで協力してきました。

今年のチルドレンズ・ミュージアムは、昨年までとは趣を変えて実施されるようです。まだ、この今年の状況の詳細が伝わってきていない状況なので、詳細が分かり次第メーリングリストでお知らせすることになりました。その状況を鑑みて、今年はどうするのかを次回のサロンで判断していきたいと思います。

4 クリスマスの活動について

前回までのサロンの話し合いの中で、クリスマスの活動については、やり方などが変わるとしても、これまでと同じようにプロキオンが登場する番組を制作したいということになっていました。

お話をテーマとして『相対性理論』という話がでてきており、それに関する話題や装置などについて様々な意見が出てきていました。

5 ボランティア保険について

以前のサロンやメーリングリストで、エム・ワイ・ピーで契約しているボランティア保険についての詳細（保険対象の範囲や補填額などについて）について知りたいという話がでていました。

今回のサロンでは時間切れとなってしまったため、次回のサロンで加藤からお話をすることにします。

6 その他

6.1 今後の活動について

- 7月9日（土）17時30分～出張観望会（サンリーアイ）
- 7月16日（土）17時～ライヴ講座（プラネタリウム機器操作）
- 7月23日（土）14時～ライヴ講座（スタジオ）

次回ほしごらサロンは7月23日（土）です。